

(I) 小委員会の報告

川崎病患者発生状況の把握

委員長	柳川 洋	(自治医大公衆衛生)
委員	菌部 友良	(日赤医療センター小児科)
	浅井 利夫	(金沢医科大学小児科)
	原田 研介	(日本大学小児科)
	多田羅勝義	(東京女子医大第2病院小児科)
	永井 正規	(自治医大公衆衛生)
	藤田 委由	(")
	長谷川央子	(")
顧問	重松 逸造	(放射線影響研究所)
	川崎 富作	(日赤医療センター小児科)

1. 研究目的

川崎病研究班は川崎病患者の発生状況を把握する目的で、昭和45年以来7回にわたり、小児科を併設する病床数100床以上の医療機関の協力を得て、川崎病全国調査を実施してきた。今回昭和57年7月以降2年半にわたる初診患者を対象に第8回の全国調査を行った。

また川崎病全国調査以外に川崎病の流行をできるだけ早く認知する目的で、昭和59年1月以来継続的に川崎病サーベイランス事業を実施してきた。

これら2種類の疫学調査のうち、前者については現在実施中なので進行状況の中間報告を行う。後者については昭和59年1月～12月の1年間の成績を要約する。

2. 第8回川崎病全国調査の進行状況

全国の小児科を併設する100床以上の病院2315カ所に調査票を発送した。調査票は患者個人の情報と施設に関する情報を含んでいる(表1)。患者個人の情報に関しては、従来の調査項目のほかにその他の薬剤の使用(γ-グロブリン、フラールビプロフェン、ビタミンEなど)、心後遺症の有無〔発病後1カ月以降に冠動脈拡大(動脈瘤を含む)、狭窄(閉塞を含む)、心筋梗塞または弁膜病変の認められた場合〕、心エコーの実施状況などを調べた。また施設に関する調査は今回はじめて実施したもので、病床数、小児科医師数、冠動脈造影検査数、心断層エコー図検査実施状況などを調べた。

調査票は昭和59年12月中旬から下旬にかけて発送した。昭和60年1月21日現在806施設(34.8%)から調査票が回収された(表2)。またこれらの施設から報告された患者数(概数)は8,100名(昭和57年7月～12月、1,900、昭和58年3,000、昭和59年3,200)である。

今後の日程としては、昭和60年2月に未回収施設に対する再依頼(約1,500施設)、昭和60年

3月にコンピュータによる集計解析を行う予定である。

3. 川崎病サーベイランスの成績

川崎病は3年周期で流行するのではないかという見通しがあり、昭和60年は前回の流行から3年めにあたる。流行をできるだけやく認知して、万全の対策を講じなければならないという立場から、昭和59年1月より川崎病サーベイランス事業を開始した。

各県ごとに人口200万人以下の府県では2カ所、100万人または端数が増えるごとに1カ所の割合で、協力病院を選定し、157カ所に依頼し149カ所(94.9%)の協力が得られた。各施設には毎月初診患者数(性別、上中下旬別)を所定の様式で報告するように依頼した。毎月集計結果を協力施設および関係官庁に報告している(図1)。

データはパソコン(NEC PC9800シリーズ)に入力し、更新、訂正、リスト作成、報告書作成などを行なっている。1984年1月から12月の報告数(85年1月23日現在)は2176件(男/女比=1.40)で、5月にやや増加傾向がみられたが、明らかな流行はみられない(図2)。地方別には関東以北で5月の山がやや目立っている(図3、表3)。

現在のところ川崎病流行の徴候はみられないが、今後も継続し、流行をできるだけやく認知したい。

4. まとめ

川崎病全国調査成績は、本病の疫学像を明らかにする上で最も重要な基礎的資料である。今回の調査による症例も含め、延べ60,000例以上の患者が把握されることになる。これらの患者資料を川崎病の原因究明に生かすとともに、適確な実態把握に役立てたい。

サーベイランスは川崎病流行の存在をできるだけやく認知することを目的としている。昭和59年1月～12月の間に明らかな流行は認められなかった。

表1 第8回全国調査様式

川崎病調査票 (第8回全国調査)

1月20日までにご返送下さい

お願い
 1 昭和47年7月1日～昭和49年12月31日の2年6か月間を調査し、調査対象とした川崎病患者生員についてご記入下さい(他施設からの、または他施設へ転居された患者も調査対象をご記入ください)
 2 転居先の異なる調査票をお互に入れ下され

主治医(代答者)加号名
 氏名
 所在地・電話番号

所属 施設 施設名

No. (型入しない)	ファミリー名 患者氏名	発病時患者住所	住所コード (記入しない)	性	生年月日	初診年月日	初診時 病名	川崎病として 診断した 日付	薬剤の使用 ステロイド 抗生薬 アスピリン その他 (薬名)	再発 再発時 死に至る 原因	心臓 血管 の異常	心臓 血管 の異常
				1男 2女	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	病名	1療養 2容疑	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり
				1男 2女	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	病名	1療養 2容疑	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり
				1男 2女	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	病名	1療養 2容疑	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり
				1男 2女	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	病名	1療養 2容疑	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり
				1男 2女	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	病名	1療養 2容疑	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり
				1男 2女	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	病名	1療養 2容疑	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり
				1男 2女	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	病名	1療養 2容疑	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり
				1男 2女	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	病名	1療養 2容疑	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり
				1男 2女	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	病名	1療養 2容疑	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり
				1男 2女	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	病名	1療養 2容疑	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり	1なし 2あり

施設に関する質問 (本調査票を2枚以上ご使用の場合は1枚めにて記入下さい)

- 1 貴院のベット数はいくつですか
 病院全体 床 小児科 床
 貴院の小児科は何人ですか、(一般病棟のみ)
 常動 人 非常動 人
- 2 運動施設検査を貴院で行っていますか
 1 はい 2 いいえ
- 3 心臓超音波検査を貴院で行っていますか
 1 はい 2 いいえ
- 4 川崎病が入院したら急病室経過中に戻され、貴院で心臓超音波検査ができますか
 1 はい 2 いいえ
 心臓超音波検査を依頼する決められた病院はありませんか
 1 ある 2 ない
 差し支えなかったら施設名を記入して下さい

死亡例について以下の点も記入して下さい
 (前回生員として報告され、後に死亡した症例も含む)

氏名
 初診年月日
 死亡年月日
 副候の有無

送先 〒329-04 栃木県河内郡河内町藤野寺 331-1
 自治医科大学公衆衛生学教室宛付
 川崎病研究施設学務課事務局
 電話0285-44-2111 内線3106, 3109

厚生省川崎病研究施設(院長 川崎重作)作成

表2 第8回全国調査の進行状況(昭和60年1月21日現在)

区 分	調査票発送数	除外数*	調査対象施設数	回収施設数
全 国	2333	18	2315	806 (34.8)
北 海 道	163	2	161	51 (31.7)
青 森	39	1	38	13 (34.2)
岩 手	35	0	35	19 (54.3)
宮 城	42	1	41	12 (29.3)
秋 田	30	0	30	8 (26.7)
山 形	23	0	23	10 (43.5)
福 島	49	0	49	18 (36.7)
茨 城	46	1	45	9 (20.0)
栃 木	30	0	30	9 (30.0)
群 馬	33	0	33	10 (30.3)
埼 玉	78	1	77	11 (14.3)
千 葉	71	0	71	20 (28.2)
東 京	230	4	226	67 (29.6)
神 奈 川	112	0	112	46 (41.1)
新 潟	49	0	49	27 (55.1)
富 山	23	1	22	8 (34.8)
石 川	38	1	37	19 (51.4)
福 井	22	0	22	7 (31.8)
山 梨	23	0	23	9 (39.1)
長 野	44	1	43	13 (30.2)
岐 阜	35	0	35	19 (54.3)
静 岡	54	1	53	24 (45.3)
愛 知	102	1	101	44 (43.6)
三 重	33	0	33	16 (48.5)
滋 賀	24	0	24	10 (41.7)
京 都	52	0	52	15 (28.9)
大 阪	167	0	167	55 (32.9)
兵 庫	99	0	99	35 (35.4)
奈 良	21	0	21	9 (42.9)
和 歌 山	19	1	18	9 (50.0)
鳥 取	14	0	14	7 (50.0)
島 根	21	1	20	7 (35.5)
岡 山	49	0	49	18 (36.7)
広 島	50	0	50	16 (32.0)
山 口	33	0	33	18 (54.6)
徳 島	21	0	21	14 (66.7)
香 川	25	0	25	8 (32.0)
愛 媛	28	0	28	11 (39.3)
高 知	33	0	33	9 (27.3)
福 岡	84	0	84	27 (32.1)
佐 賀	21	0	21	8 (38.1)
長 崎	42	0	42	15 (35.7)
熊 本	43	0	43	11 (25.6)
大 分	17	0	17	3 (17.7)
宮 崎	18	0	18	5 (27.8)
鹿 児 島	29	0	29	2 (6.9)
沖 縄	19	1	18	6 (33.3)

*住所不明、廃業、重複等により対象施設より除外

表3 地方別・月別・性別患者報告数

地方別集計

施設数	1 月						2 月						3 月						計	
	上旬		中旬		下旬		上旬		中旬		下旬		上旬		中旬		下旬		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
49	0	1	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	5	8
(15)	4	5	4	7	9	5	1	1	1	1	2	0	2	2	1	0	0	2	23	39
(26)	5	1	6	7	9	5	5	6	9	1	7	4	2	5	7	12	7	6	68	115
(21)	8	2	4	3	12	8	10	4	5	7	4	7	13	7	10	7	1	6	47	100
(9)	2	0	3	2	2	1	2	1	1	1	4	0	2	4	1	1	1	0	18	24
(13)	2	2	2	2	2	2	2	4	1	1	3	6	3	5	4	2	4	2	25	49
(24)	8	6	10	2	7	4	10	6	5	4	5	4	8	4	5	4	6	3	69	109
(10)	0	0	1	0	0	1	1	0	2	2	1	0	2	1	0	2	3	1	9	16
(8)	2	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	2	0	1	10	7
(15)	2	0	2	3	2	4	1	4	1	1	1	4	2	1	1	3	1	6	28	50
(149)	36	20	34	21	41	25	35	28	31	23	35	31	41	27	42	32	43	32	239	577
49	1	0	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1	1	1	2	14	7
(6)	1	4	4	3	7	4	0	5	4	3	9	4	2	2	4	2	2	3	65	112
(15)	1	5	4	3	8	6	16	5	13	7	14	12	9	6	8	5	10	7	163	274
(20)	12	10	14	10	10	8	20	12	14	2	6	9	7	7	9	5	7	10	132	313
(23)	13	10	11	10	10	12	14	2	14	2	8	1	4	4	5	2	5	2	20	65
(13)	2	4	3	1	3	3	3	3	3	3	2	3	4	4	4	5	4	4	48	103
(24)	6	2	2	4	0	0	6	3	1	7	6	3	7	5	9	5	4	4	33	142
(10)	2	2	0	0	3	2	1	2	0	2	0	2	0	4	1	3	1	2	23	43
(8)	1	1	0	0	3	2	1	2	2	1	1	1	3	1	2	0	2	4	35	56
(15)	7	5	9	2	6	2	2	9	2	7	7	8	3	11	2	2	2	4	85	141
(2)	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	11	8
(149)	50	39	44	32	35	27	71	38	52	40	55	36	54	28	45	26	36	37	780	1322
49	2	0	1	0	0	1	2	2	2	0	1	2	2	0	0	0	1	0	25	12
(6)	1	3	4	1	5	12	3	5	1	3	5	1	3	2	1	1	2	3	83	146
(15)	7	4	10	5	12	4	4	6	4	2	2	4	2	2	6	5	10	3	222	369
(26)	7	4	11	11	15	5	7	6	3	4	5	3	9	10	5	2	5	1	238	416
(9)	5	2	2	1	1	0	2	2	2	2	2	1	2	1	0	5	2	1	67	96
(13)	5	3	2	2	3	2	2	1	2	4	3	3	3	1	3	3	3	3	85	161
(24)	0	2	4	2	2	1	0	3	1	0	3	1	1	1	3	3	3	3	135	233
(10)	2	0	0	2	2	1	0	3	0	2	1	0	1	0	1	3	2	2	42	69
(8)	2	0	2	3	5	2	1	4	0	0	5	0	3	1	2	2	1	1	76	130
(15)	1	0	2	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11	28
(2)	40	25	37	31	34	19	34	25	24	14	27	25	26	16	28	24	29	17	739	1798
49	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	43
(6)	1	0	2	1	1	5	4	7	6	5	2	3	0	3	0	0	0	2	36	101
(15)	6	5	7	6	4	3	4	4	2	6	4	2	4	2	7	6	6	7	270	509
(26)	8	7	6	4	3	5	4	3	4	4	2	2	8	1	7	6	6	7	286	509
(21)	0	2	1	1	2	1	2	1	2	1	2	0	1	0	1	1	3	0	81	117
(9)	3	0	3	4	1	2	4	4	2	4	5	0	1	1	2	1	2	3	108	203
(13)	3	1	0	7	4	0	4	5	4	3	2	5	3	2	2	1	3	4	166	286
(24)	0	4	0	1	0	0	0	2	0	1	0	1	3	2	6	3	2	1	53	42
(10)	0	4	0	3	3	2	1	0	1	0	3	1	0	0	1	0	2	3	38	74
(8)	0	3	0	2	0	2	0	1	0	0	1	1	1	3	3	0	2	3	132	220
(15)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	17	38
(2)	22	24	7	19	23	20	30	20	23	18	26	12	21	12	28	20	22	21	171	2176
(149)	22	24	7	19	23	20	30	20	23	18	26	12	21	12	28	20	22	21	1271	905

図1 過去の川崎病流行状況

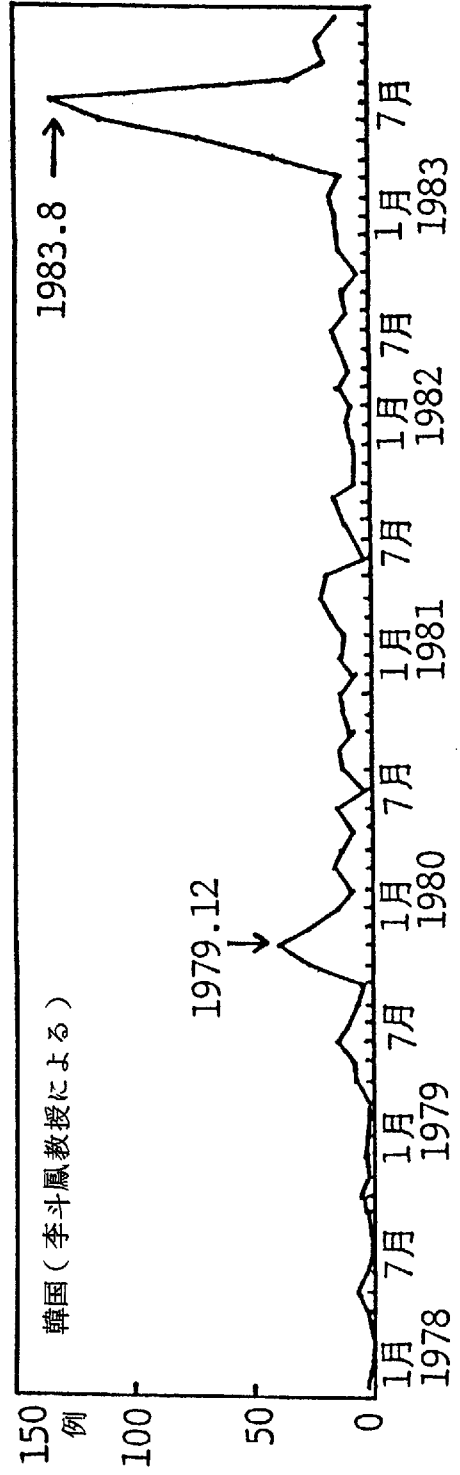
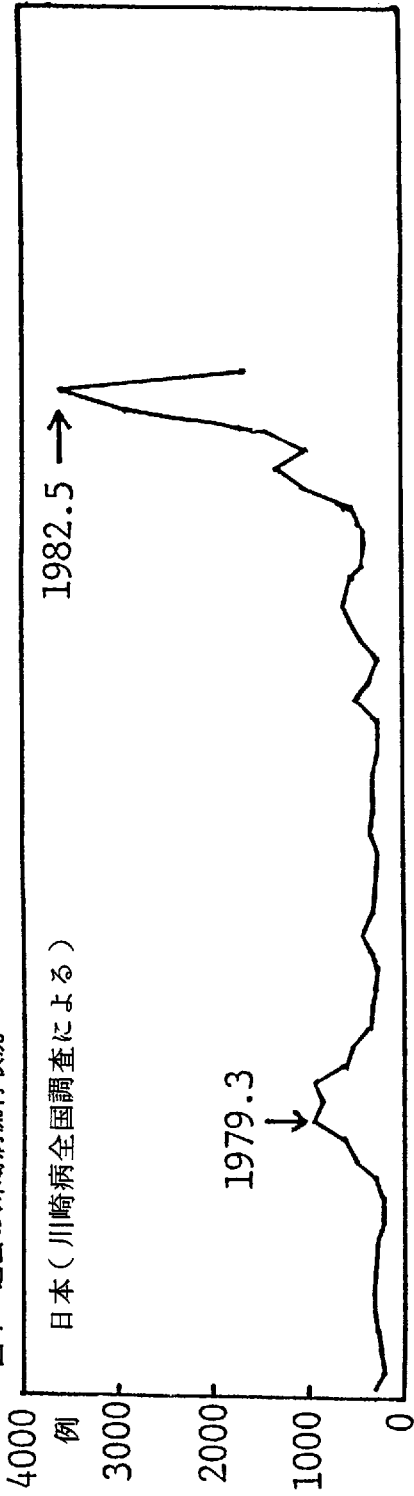


図2 情報収集の流れ

参加施設149カ所(依頼施設の95%)

毎月

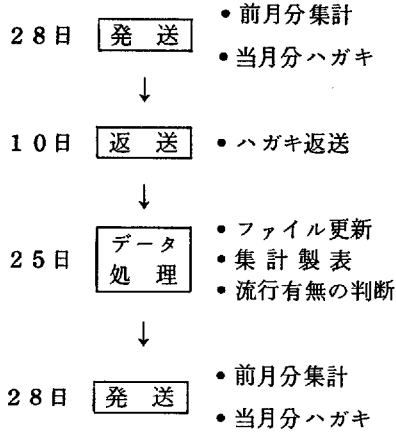


図3 月別、地方別患者数

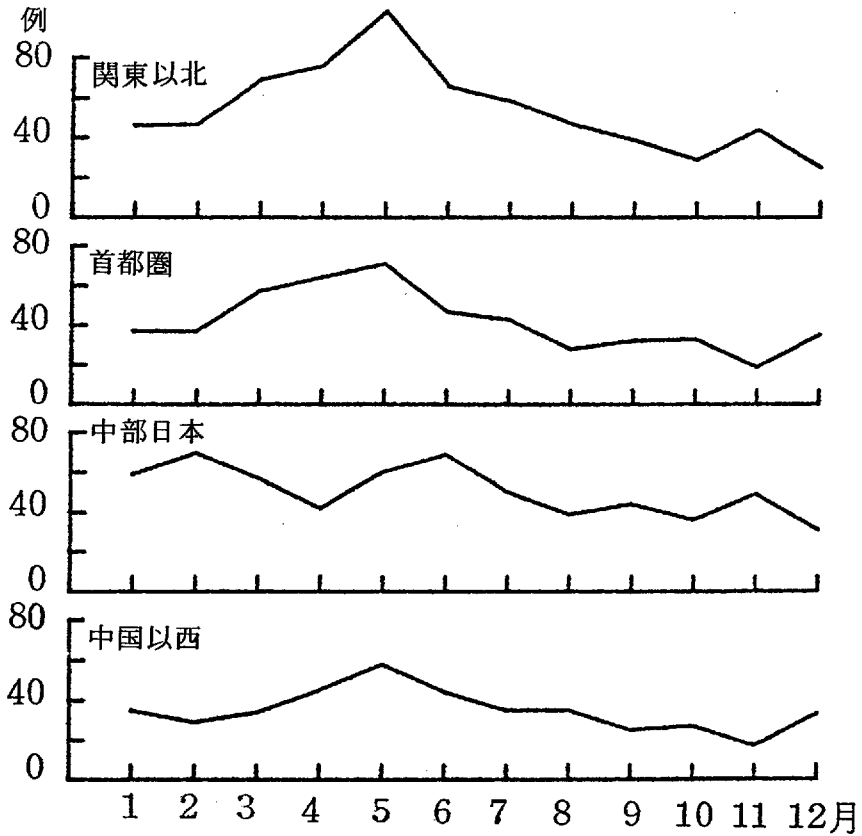
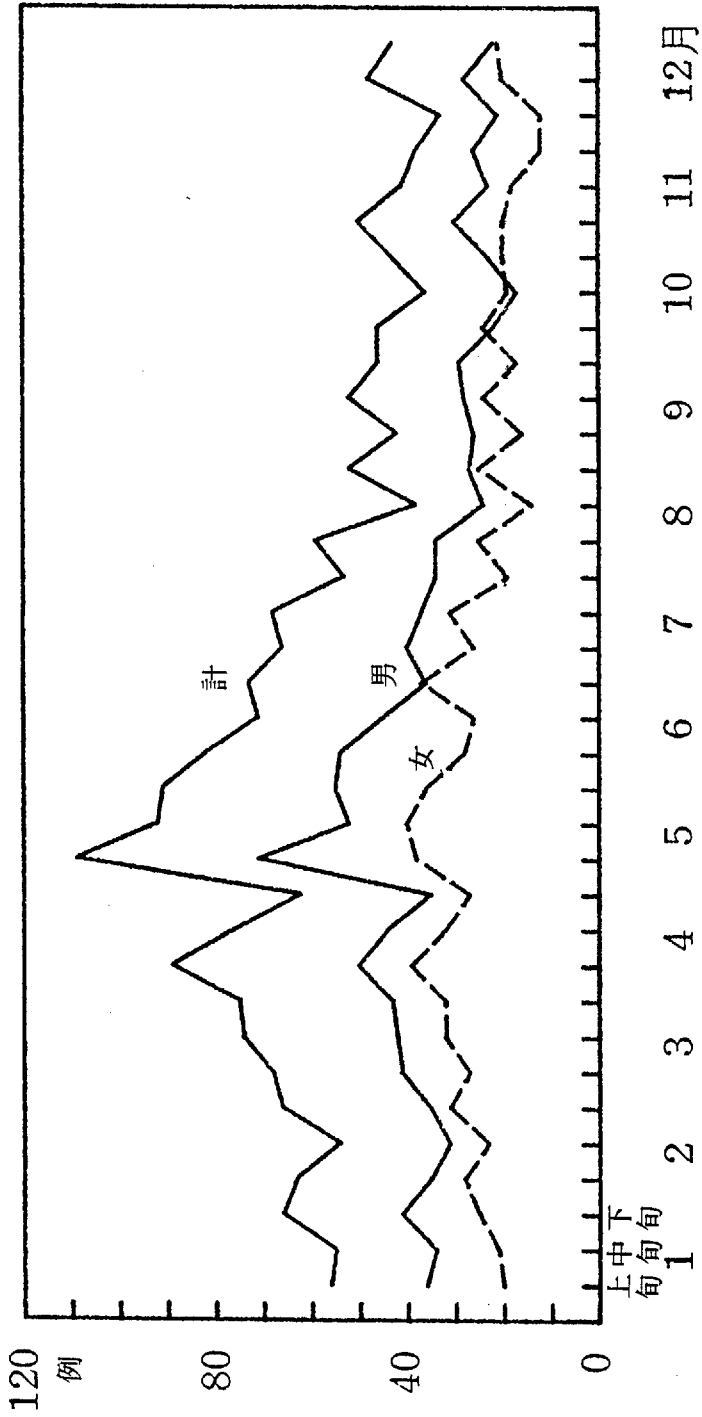
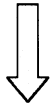


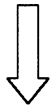
图4 月别(上中下旬别)患者数





検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



1. 研究目的

川崎病研究班は川崎病患者の発生状況を把握する目的で、昭和45年以来7回にわたり、小児科を併設する病床数100床以上の医療機関の協力を得て、川崎病全国調査を実施してきた。今回昭和57年7月以降2年半にわたる初診患者を対象に第8回の全国調査を行った。また川崎病全国調査以外に川崎病の流行をできるだけ早く認知する目的で、昭和59年1月以来継続的に川崎病サーベイランス事業を実施してきた。

これら2種類の疫学調査のうち、前者については現在実施中なので進行状況の中間報告を行う。後者については昭和59年1月～12月の1年間の成績を要約する。